

インフルエンザワクチンの接種について

東陽病院 感染症委員会

インフルエンザワクチンに対する関心は高く、病院にも問い合わせの電話がかかってきます。よくある質問には、「今年の2月に新型インフルエンザワクチンの接種を受けたが、10月からのワクチン接種は受けた方がいいですか？」という質問があります。その場合、インフルエンザワクチンの効果は長くとも半年であること、インフルエンザウイルスは毎年少しずつ形をかえるためにワクチンを新しくしていることを説明し、ワクチン接種を受けることを勧めます。

また、「今年の冬も新型インフルエンザが流行するのですか？」といった質問もあります。新型インフルエンザが流行していたところは100%と言ってよいほどインフルエンザ患者から検出されるウイルスは新型でした。だからと言って今年の冬も新型が流行するとは限りません。日本が暑い夏のところ、南半球の国々では新型と季節型の両方が検出されています。今年の冬に日本で何が流行するかはわかりませんが、新型と季節型インフルエンザワクチンの2種類が混合されているワクチンを接種することは、新型インフルエンザと季節型インフルエンザの両方に備えをすることになります。

毎年繰り返すことですが、インフルエンザワクチンを接種することが、インフルエンザを予防するには最も有効な手段です。特に呼吸器疾患、糖尿病、心臓病、腎臓病などの基礎疾患のある方、小児、妊婦、高齢者といった方々はインフルエンザにかかるリスクが重なり、割合も高くなります。毎年接種を受けることでワクチンの効果も高まると言われています。

油断せずインフルエンザワクチン接種を受けましょう。

インフルエンザ予防に努めてください。

- ① 発熱、咽頭痛、鼻水、咳、関節痛、下痢、嘔吐などの症状について、毎日チエツクを行い、自己の健康保持に努める。
- ② 流行が始まったらマスクを着用する。
- ③ 手洗い、うがい、清掃等の衛生管理を行う。
- ④ インフルエンザの症状がみられたら早めに医療機関へ受診する。

東陽病院からのお知らせ

インフルエンザワクチンの接種を10月1日から実施していますので、受付で予約してください。

なお、当院では小児科がないため、中学生以下の患者様の予防接種は行っていません。

◆お問い合わせ

東陽病院 ☎(84) 1335



東陽病院外来日程表

診療科	午前									午後		
	受付 午前8時30分~11時30分									受付 午後1時~3時		
	診察開始 午前9時~									午前10時30分~ 診察開始 午後1時30分~		
曜日	内科			外科	整形外科	婦人科	泌尿器科	皮膚科	脳神経外科	皮膚科	眼科	耳鼻咽喉科
月	呼吸器 矢幅	(院長) 伊藤		齋藤	安倍	田内	伊地知				千葉大	千葉大
火	青木	(院長) 伊藤			安倍	保科	伊地知	佐藤	大屋	千葉大		
水	青木	(院長) 伊藤			安倍	田内	伊地知				千葉大	花澤
木	循環器 森野	齋藤	循環器 北原	伊東	安倍	田内						
金	亀崎	伊東		齋藤	安倍	保科	伊地知		千葉大			千葉大

◆予約変更・問い合わせ 東陽病院 ☎84-1335 URL;www4.ocn.ne.jp/~toyohp/